

基礎編 水害へのそなえ

TBS自主防災会
2018年度版



TBS自主防災会は、昨今、多発している水害に「自らの身は、自ら守る。自分たちの地域は、自分たちで守る」の基本理念に基づき、千の川を管理している県藤沢土木事務所、市下水道河川管理課、防災対策課のご協力をえて水害に備えた活動をしています。

県・市・自主防災会の懇談会 (2018/7/4 実施)

- 市ゾーンマップで、相模川・小出川・千の川が氾濫した場合、TBSは、浸水深2.0~5.0m未満に指定。
- 千の川の護岸は、1時間に50mmの降水量に対応できるよう作られている。
- 今後は、ゲリラ豪雨で、1時間に60mmの降水量も予想される。
- 土砂の浚渫は、平成30・31年度に小出川合流地点まで、雨の少ない時期に行う計画。
- 千の川と小出川では、小出川の方が氾濫の危険性が高いので、橋の架け替えと遊水池を計画。
- 川幅の拡張や波消しコンクリートのかさ上げは、平成20年度に完了。
- 波消しコンクリートのひび割れ箇所は、随時補修。
- 波消しコンクリートの高さがもう少しほしいので、今後、県は市・地域住民と相談。
- TBSの一部の住宅地は、冠水・浸水しやすく、下水が逆流する。

●洪水：千の川(県管理区域)避難勧告等の茅ヶ崎市の発令基準

※ 茅ヶ崎市では、近年ゲリラ豪雨が多発しているので、早めの発令を心がけてる。



避難準備・高齢者等避難開始

近くの指定避難所は
鶴嶺小学校

■発令基準

- 梅田橋水位観測所の水位が避難判断水位2.2mに到達した場合。
- 梅田橋上流の水位観測所の水位が急激に上昇している場合。流域雨量指数の予測値が急激に上昇する場合等。

- 避難に時間要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は、避難を開始しましょう。

- 他の人は、避難の準備を整えましょう。

避難勧告

■発令基準

- 梅田橋水位観測所の水位が氾濫危険水位2.5mに到達した場合。
- 梅田橋上流の水位観測所の水位が急激に上昇している場合。流域雨量指数の予測値が急激に上昇する場合等。

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内の二階やより安全な場所に避難をしましょう。

避難指示（緊急）



■発令基準

- 決壊や超水・溢水が発生した場合。
- 梅田橋水位観測所の堤防高に到達のおそれが高い場合。
- 決壊のおそれが高まった場合。
- 樋門・水門等の施設の機能障害が発見された場合等。

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内の二階やより安全な場所に避難をしましょう。



避難の心得

- ・周囲の状況を確認してから避難場所へ。
- ・水深50cm以上（大人のひざ丈）の場合は、無理に避難しない。自宅の2階や高い所に避難。
- ・動きやすい長袖と長ズボン。普段から履きなれた底が厚めの靴。
- ・可能な限り複数人で避難。
- ・非常持ち出し袋は、すぐに持ち出せるよう準備。
- ・中身を定期的に点検。電池や食料の消費期限に注意。
ローリングストック（普段の食事に利用する缶詰やレトルト食品などを備蓄食料とし、製造日の古いものから使い、使った分は新しく買い足して、常に一定量の備えがある状態にしておく）
- ・自動車ではなく、なるべく徒歩。

避難準備チェック表

当てはまる□に✓を付けて、
備えましょう。

●情報入手手段

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ | <input type="checkbox"/> スマホ・携帯 | <input type="checkbox"/> 市防災放送 | <input type="checkbox"/> 防災情報メール |
| <input type="checkbox"/> 市防災情報サイト | <input type="checkbox"/> 防災ラジオ | <input type="checkbox"/> 近隣の住民 | <input type="checkbox"/> 親戚・知人 |
| <input type="checkbox"/> その他 () | | | |

●避難

- 自分ひとり 夫婦 家族 近隣の住民 ペット



●場所・経路の確認

- 近くの避難場所(鶴嶺小) 避難経路

●非常持ち出し品リスト(参考例)

- 飲料水 懐中電灯 乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など
 救急医薬品、常備薬、マスク、生理用品、ティッシュ 粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ
 現金(小銭も)、預金通帳、印鑑、健康保険証、身分証明書
 下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴 () ()

※避難所が開設されてもすぐに必要な物が、手に入るわけではありません。
両手が自由に使える入れ物に常備しましょう。

●家族の安否の確認方法

(電話番号やメールアドレス等) []

●家の非常用品

※避難所に避難できない場合もあるので2階にも食料品の備蓄をしましょう。
懐中電灯、携帶用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、貴重品、携帯ボンベ、コンロなど。

●水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しましょう。